

発見！角川文庫 私たちの読書会



発見！広場

詳しいグッズの情報などは、
こちらのケータイサイトから！



猫町
倶楽部の
イチオン

『ドグラ・マグラ』(上・下)

夢野久作

角川文庫 上540円、下620円

九州大学精神科の病室で突如、意識を取り戻した「私」。そこに現れた若林博士は、私が医学界に革命をもたらす新学説の実験材料であると告げる。私は失われた記憶を取り戻すことができるのか。日本ミステリー界屈指の奇書。

お洒落なイベント型読書会 猫町倶楽部

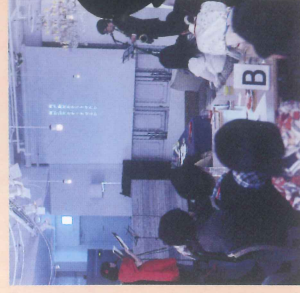
2006年のスタート以来、のべ5000人以上が参加している日本最大級の読書会。代表・山本多津也。詳細は公式HP <http://www.nekomachi-club.com/>を参照。



名作文学を通じて 広がる人の輪

文学、ビジネス、アートと各地でさまざまなテーマの読書会を催している「猫町倶楽部」。今回お邪魔した「東京文学サロン月曜会」は、月に一度のペースで開かれている文学作品に特化した読書会だ。会場である瀟洒なカフェの扉を開けると、約60人も参加者がすでにテーブルについていた。「作品によって100人を超すこともあります」と主宰の山本多津也さんは話す。

この日の課題図書は夢野久作の長編ミステリー『ドグラ・マグラ』だ。参加者は5、6人のグループに分かれ、作品の感想を口々に語り合う。「現実と幻想の境目が揺らいでくる。すごく不思議な小説『仮想現実の話。現代的なテーマなのでは?』などの意見が飛び交っていた。中には「よく分からなかったが、みんなの意見を聞いて納得できた。も



う一度読んでみようかな」という人も。異なる意見に触れることで、作品への理解が自然と深まってゆくようだ。たつぷり本について語り合った後は、テーブルごとにベストドレッサーを選出。大正ロマン風に装った7人のベストドレッサーには、読書会オリジナルのしおりが贈られた。お洒落な遊び心を忘れないのが猫町流だ。「課題図書を読み終えていれば、誰でも参加歓迎です。文学に親しむきっかけになれば嬉しい。余談ですが参加者のコミュニケーション深まった結果、結婚までゴールインしたカップルが11組いる、というのもこの会の特徴です」と山本さん。

アフターパーティでは、「朗読DUO」大谷能生×吉田アミのお二方が『ドグラ・マグラ』の朗読パフォーマンスを披露。ファッショナブルで心地よい空間が、読書の新しい楽しみ方を教えてくれた。



読書会メンバーのイチオン

『ポケットに名言を』

寺山修司

角川文庫 380円

文学作品はもちろん、歌謡曲、映画の名セリフなどから、奇才・寺山修司がお気に入りのフレーズを抜き出した型破りな世界名言集。「はみだし者のための名言集。ふつうの名言集にはまぎれ載らないような、刺激的で毒のある言葉に出会えます」



くろろさんの
イチオン

『パンク侍、斬られて候』

町田康

角川文庫 660円

江戸時代。腹を振って踊る宗教団体「腹ふり党」が臺演する藩に、年人・掛十之進が現れた。強烈な言語パワが渦を巻く、シチュールで斬新な時代小説。「独特な文体と、ばかばかしい展開が絶妙! 読んでいる間はずっと大笑いしていました」



たまにや
さんの
イチオン

『タイニー・タイニー・
ハッピー』 飛鳥井千砂

角川文庫 660円

東京郊外の大型ショッピングセンター「タイニー・タイニー・ハッピー」に開かる8人の男女の姿を、端々しくリアルに描いた連作恋愛ストーリー。「仕事をしている女性に特にオススメ。行き詰まった時に読むと、ホッと一息つけるんです」

